

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 18 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530457

研究課題名(和文) 災害復興過程における地域内社会諸関係の再認識・再構築

研究課題名(英文) A research for reconstruction of community in the process of disaster recovery

研究代表者

松井 克浩(MATSUI KATSUHIRO)

新潟大学・人文社会・教育科学系・教授

研究者番号：50238929

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学

キーワード：災害復興 地域づくり コミュニティ 町内会 災害ボランティア

1. 研究計画の概要

(1) 近年繰り返されてきた地震災害は、日本の中山間地において進行中の種々の問題—高齢化・過疎化・限界集落化—を劇的な形で顕わにした。しかし災害は、集落の衰退や消滅を加速する側面がある一方で、地域内の社会関係の価値を再認識させ、また被災地外の諸主体との新たな連携により地域内社会諸関係を再構築していく面をもつ。

(2) 本研究は、被災と復興の過程における近隣関係の再評価や外部の民間や NPO などの多様な諸主体との連携が、被災地内の種々の社会関係に影響を与え、関係の対自化を促し、それを更新していく様を事例研究にもとづいて具体的に明らかにしていく。そこに災害被災地の復興、さらには中山間地の再生の新たな可能性を探る。

2. 研究の進捗状況

(1) 中越沖地震被災地である柏崎市で聞き取りと資料収集を行った。その結果、地震時に機能したコミュニティの特徴として、次のことが分かった。町内会や班といった「小さい単位」を重視し、それとコミュニティレベルとの連携をはかっている。地震以前からの日常的な地域活動が盛んで、結びつきが強い。防災のための組織づくりにおいても、それぞれの地域に応じた工夫を凝らしている。地域をよく知るリーダーが自信をもってリーダーシップを発揮している。中越沖地震の経験を、いずれも地域の将来のために活かそうとしている。(2008年)

(2) 被災地におけるコミュニティとボランティアの有効で機能的な関係はどうすれば

可能になるのか、という点を中心に引き続き柏崎市で聞き取りと資料収集を行った。その結果、災害ボランティアが地域においてその力を発揮するために必要なコミュニティの側の条件として、次のことが分かった。地域の中で町内会や地域コミュニティなどの「小さな単位」の力量が高い。この「小さな単位」が経験から学んで地域に足りないものを反省し、取り入れる力をもつ。こうした力を活かしつつ、災害をとくに意識しない日常的な地域づくりを積み重ねている。(2009年)

(3) 柏崎市民 1,000 人を対象としてアンケート調査を実施した(回収率 54.8%)。その結果次のことが分かった。地震をきっかけとして地域のつながりが強化(地域への関心・愛着、あいさつ、生活面での協力)。災害時のジェンダーについては、今回は男女が分担していたが、今後の期待では「両方同じように」が増加、などである。(2010年)

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

当初掲げた研究目的 - 被災と復興の過程における近隣関係の再評価や再構築 - に関して、質的な事例研究および量的なアンケートを用いた研究の両面からアプローチし、毎年共著書・論文等の形で成果を公表している。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 研究の最終年度(2011年度)には、これまで収集した資料の取りまとめを行うとともに、柏崎市・長岡市を中心に補充調査を実施する。

(2) 2011年3月に発生した東日本大震災の被災地・被災者を対象とした調査に着手する。そのさい、本研究課題の目的と成果に照らし合わせて考察を進め、今後の研究展開にそなえる。

(3) 本研究課題による調査研究の全体をふまえ、本年度中に著書(単著)を刊行する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

松井克浩「社会学の震災調査と資料収集—新潟県中越地震・中越沖地震の調査を通して」『災害と資料』3, 72-80, 2009, 査読なし。

松井克浩「中越沖地震被災地のコミュニティとボランティア—柏崎市比角地区の事例」『新潟大学災害復興科学センター年報』3, 83-102, 2009, 査読なし。

[図書](計2件)

吉原直樹編『防災の社会学—防災コミュニティの社会設計に向けて』東信堂, 2008
(松井克浩「防災コミュニティと町内会—中越地震・中越沖地震の経験から」59-86, を分担執筆)。

吉原直樹編『防災コミュニティの基層—東北6都市の町内会分析』御茶の水書房, 2011
(松井克浩「ボランティアと防災実践活動」191-209, を分担執筆)。

[その他]

(講演) 松井克浩「防災コミュニティと町内会—新潟県中越地震・中越沖地震の経験から」東北大学防災セミナー「まちづくりの転換と防災コミュニティ」2009, 仙台市。

(報告書) 松井克浩『中越沖地震からの「復興」と地域生活に関するアンケート結果報告書』新潟大学人文学部社会学研究室, 2011。

(新聞掲載)「32%「家計が悪化」中越沖被災柏崎市民 町内会「必要」93% 新大調査」『新潟日報』2011年4月15日付。